

11月17日は「世界早産児デー(World Prematurity Day)」

紫色ライトアップやパネル展示、紫色医療スクラブ（診察衣）で 早産のお子さんにご家族にエール！

11月17日は、「世界早産児デー(World Prematurity Day)」です。世界保健機関(WHO)によると、世界では毎年推定1500万人が早産(妊娠37週未満)で生まれています(新生児の10人中1人の割合)。「世界早産児デー」は、世界の早産に関する課題や負担への意識を高めることを目的に、国連やWHO、セーブ・ザ・チルドレンなどの諸団体によって2011年に制定され、毎年多くの国、NGO、国連機関や医療に関わる団体がイベントやライトアップなど、早産や早産児についての啓発活動を行っています。

当院でも、早産を予防し早産児ケアの改善の普及のために、病院玄関を応援カラーである紫色にライトアップします。また、今年はライトアップに加えて病棟でさまざまな企画を実施し、啓発活動に取り組みます。

◆ ライトアップ

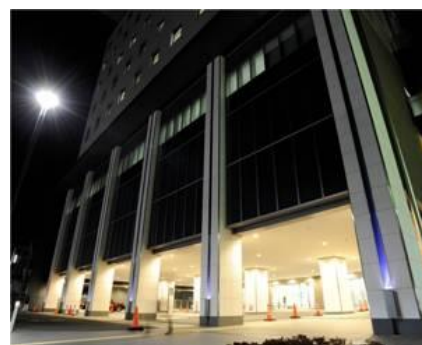
【場 所】 聖隷浜松病院 玄関

【期 間】 11月15日(月)から11月21日(日)

【点灯時間】 17時から21時

取材希望時間 17時30分すぎから18時頃

18時以降が、周りが暗くなりライトアップが映えます



過去のライトアップの様子

◆ NICU・GCU病棟での企画

・パネル展示(11月15日(月)から常時展示)

NICU(新生児集中治療室)・GCU(新生児回復室)で成長した子どもたちとご家族の頑張りを写真で表現。

NICU・GCUで頑張った子どもたち、NICU・GCUで今も頑張っているあかちゃんから写真を募集し、一枚のパネルにして病棟や病院内に展示します。

また、NICU・GCUで今も頑張っているあかちゃんの手形足形アートを実施し、一枚のパネルにして飾ります。

・医師・看護師らが紫色の医療スクラブ(診察衣)・シュシュなどを身に着けて業務(11月15日(月)から19日(金))

市内の小児周産期医療関係者から全てのお子さんとそのご家族にささやかですが熱いエールを！

聖隷浜松病院・浜松城・アクトタワー

11/17

紫色に染まります！

昨年引き続き、新生児科大木茂医師が発起人となり、浜松市内の産科・新生児科・小児科の医師、看護師、医療スタッフ・行政(浜松市健康増進課)などに賛同いただき、11月17日(水)に浜松城とアクトシティタワーをライトアップします。

* 当院は、1977年5月に日本で初めて人工呼吸器や血液ガス分析器などを装備した新生児専用救急車を配備しました。毎年250件以上出動し県西部で発生した新生児症例に対応しています。



是非、貴社にてご紹介いただければ幸いに存じます。貴紙で取り上げて頂けるようでしたら、

予め下記連絡先までご一報いただけましたら幸いです。よろしくお願いたします。

【問い合わせ先】聖隷浜松病院 学術広報室 北岡、太田、望月 TEL053-474-2753・FAX053-474-2763